

事業シート(平成31年度決算)

事業名	94700 市内遺跡発掘調査事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画画		教育振興基本計画		
			目	7	文化財費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2355								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財を保護し次代に伝える。 県指定史跡の国指定への格上げ 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業により影響を受ける埋蔵文化財を記録保存する。 保存活用の必要な遺跡の内容を確認する。 国指定に向けた調査の実施
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	78.3%	75.7%	↗
国・県指定・登録文化財の件数	176件	176件	190件

2.事業の実施結果等(Do)

		H30			H31		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		2,140	1,707	2,180	2,180	1,743	36
特定財源	国費 (埋蔵文化財発掘調査事業費1/2)	1,070	842	1,090	1,090	861	19
	県費 ()						
	その他()						
一般財源		1,070	865	1,090	1,090	882	17
個票枝番	主な事業内容						
	試掘・範囲確認調査、整理	1,880	1,610	1,870	1,870	1,644	34
	松倉城跡・広瀬城跡等の国指定に向けた調査						

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		1,900
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
2,475	1,900	1,900	△ 280	
1,237	950	950	△ 140	
1,238	950	950	△ 140	
査定額	説明			
530				
1,280				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨国分寺跡、馬場遺跡、十王堂遺跡等の試掘等確認調査の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業に伴う埋蔵文化財包蔵地の照会対応、試掘調査等を実施し、埋蔵文化財保護を推進した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 開発に対応するため、継続して事業を実施する。 国史跡への指定に向けた取り組みを行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 古館遺跡、大首遺跡、検ヶ坪遺跡等の試掘等確認調査の実施 松倉城跡の確認調査の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業に伴う埋蔵文化財包蔵地の照会対応、試掘調査等を実施し、埋蔵文化財保護を推進した。 松倉城跡の国指定に向けた確認調査を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 開発に対応するため、継続して事業を実施する。 松倉城跡等の国指定に向けた取り組みを行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業などに対応するための緊急目的の発掘調査に必要な経費を計上 調査指導委員会の指導等による松倉城跡の発掘調査に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容の精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度決算)

事業名	94710 歴史資料購入事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		教育振興基本計画			
			目	7	文化財費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2977							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・郷土に関わる歴史資料の流失、散逸を防ぐとともに、市民の郷土学習に役立てる。	概要	・郷土に関わる歴史資料を購入する。
----	--	----	-------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	78.3%	75.7%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	9,100	9,039	1,000	1,369	1,369	△ 7,670	
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源	9,100	9,039	1,000	1,369	1,369	△ 7,670	
個票枝番	主な事業内容						
	歴史資料等の購入	9,100	9,039	1,000	1,369	1,369	△ 7,670

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
1,000	1,000	1,000	0
1,000	1,000	1,000	0
査定額	説明		
1,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 郷土に関わる歴史資料の購入 購入資料件数 10件 流出、散逸を防いだ件数 10件 土地の公有地化 古墳周辺土地の買戻し 1件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 郷土に係る貴重な資料の流出、散逸が防がれ、公有化により展示公開や研究等への活用がなされた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に郷土の歴史資料の購入を進める。 飛騨高山まちの博物館などの教育施設での展示を通じて、市民への公開を実施する。 学校などへ、資料の活用に向けた情報提供を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 郷土に関わる歴史資料の購入 購入資料件数 6件 流出、散逸を防いだ件数 6件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 郷土に係る貴重な資料の流出、散逸が防がれ、公有化により展示公開や研究等への活用がなされた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に郷土の歴史資料の購入を進める。 飛騨高山まちの博物館などの教育施設での展示を通じて、市民への公開を実施する。 学校などへ、資料の活用に向けた情報提供を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の歴史資料の流失・散逸の防止及び市民の郷土学習のための歴史資料等の購入に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(平成31年度決算)

事業名	94720 文化財保護事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 文化財課
枝番・内容	1 無形文化遺産伝承事業補助金		<input type="checkbox"/> H30拡充	<input type="checkbox"/> H31拡充		款	9	教育費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		4	社会教育費	内線	2354	
		<input type="checkbox"/>		目		7	文化財費	作成年月	R2.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・ユネスコ無形文化遺産に登録された高山祭の屋台行事の芸能伝承者の育成に対する支援を行う。	概要	・高山祭の祭礼行事の保存団体が行う祭礼衣装等の復興や伝承事業に対する助成
----	--	----	--------------------------------------

【参考】H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	0
	補正等	2,000
	最終	2,000
決算額		2,000
対前年度増減額(決算)		0

【参考】H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	2,000
主な経費	・補助金	
対前年度増減額(当初予算)		2,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	2,000
	繰越	0
	補正等	0
	最終	2,000
決算額		2,000
対前年度増減額(決算)		0

R2当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	2,000
主な経費	・補助金	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績] ・八幡宮氏子八幡祭保存会が行う祭礼衣装・用具の修理、新調に対する助成	
[評価等] ・要望の多い祭礼衣装等の復興により、芸能伝承に携わる人々への意識の高揚につながったとともに祭礼の行列等が厳粛な趣となった。	
次年度以降の考え方(担当課)	・保存団体と意見交換を行い、連携を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・ユネスコ無形文化遺産「高山祭の屋台行事」を構成する祭行事の芸能伝承者の育成や継承活動に対する支援	
[スケジュール] ・H31.4 補助金交付決定 ・H31.5 事業実施	

事業実績、評価等	
[事業実績] ・日枝神社氏子山王祭保存会が行う祭礼衣装・用具の修理、新調に対する助成	
[評価等] ・要望の多い祭礼衣装等の復興により、芸能伝承に携わる人々への意識の高揚につながるとともに祭礼の行列等が厳粛な趣となった。	
次年度以降の考え方(担当課)	・保存団体と意見交換を行い、連携を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・ユネスコ無形文化遺産「高山祭の屋台行事」を構成する祭行事の芸能伝承者の育成や継承活動に対する支援	
[スケジュール] ・R2.5 補助金交付決定 ・R2.6 事業実施	

事業シート(平成31年度決算)

事業名	94725 指定文化財保存修理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画	
			目	7	文化財費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2356							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・国・県・市指定文化財を保護し次代に伝える。	概要	・指定文化財の保存修理に対する助成
----	------------------------	----	-------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	78.3%	75.7%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	5,000	4,146	5,100	5,100	5,077	931
特定財源						
国費()						
県費(県指定文化財修理事業費2/3)						
その他()						
一般財源	5,000	4,146	5,100	5,100	5,077	931
個票枝番	主な事業内容					
	指定文化財の保存修理事業に対する助成					
	5,000	4,146	4,600	4,600	4,593	447
			500	500	484	484

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
12,864	13,000	13,000	7,900
1,430	1,430	1,430	1,430
11,434	11,570	11,570	6,470
査定額	説明		
10,100			
700			
2,200			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・市指定文化財 立岩神社のとの木、田上家住宅板塀・自動火災報知設備、岩船の滝お堂、玉水神社のスギの木
評価等	・各文化財の状態を把握し、優先順位を決め、計画的に取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定 ・修理等に対する文化財所有者のニーズは大きく、今後も事業を継続する。

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・市指定文化財 岩井神社本殿、角正、芳国舎洪草陶磁器製造所、一色白山神社拝殿 ・国指定文化財 飛騨国分寺の大イチョウ
評価等	・各文化財の状態を把握し、優先順位を決め、計画的に取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定 ・修理等に対する文化財所有者のニーズは大きく、今後も事業を継続する。

担当課 予算要求 ポイント	・指定文化財の存続のための保存修理に必要な経費を計上
---------------------	----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

事業シート(平成31年度決算)

事業名	94750 伝統的建造物群保存地区保存事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	7	文化財費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2355								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・伝建地区内における伝統的な景観を維持する。	概要	・伝建地区内における伝建物の修理及び非伝建物の修景事業に対する助成等
----	------------------------	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	78.3%	75.7%	↗
重要伝統的建造物群保存地区内の修理・修景の実施済割合	68.3%	68.7%	90%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31			増減 (b)-(a)
	最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)		
	40,500	38,884	40,500	40,345	30,608	△ 8,276	
特定財源	国費 (伝統的建造物群保存地区保存事業費1/2)	20,000	19,192	20,000	19,950	15,053	△ 4,139
	県費 ()						
	その他 ()						
一般財源	20,500	19,692	20,500	20,395	15,555	△ 4,137	
個票枝番	主な事業内容						
	伝統的建造物群保存地区修理修景事業に対する助成	39,900	38,302	39,745	39,745	30,011	△ 8,291

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		40,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)	
43,596	40,500	40,500	0	
21,548	20,000	20,000	0	
22,048	20,500	20,500	0	
査定額	説明			
39,900	伝統的建造物群保存地区保存条例に基づく補助			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・修理、修景 9件
評価等	・保存計画に基づき修理・修景を行い、町並み景観の整備を推進した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定
	・保存計画に基づき、今後も継続実施する。

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・修理、修景 5件
評価等	・保存計画に基づき修理・修景を行い、町並み景観の整備を推進した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定
	・保存計画に基づき、今後も継続実施する。

担当課 予算要求 ポイント	・歴史的町並保存の推進に必要な経費を計上 ・伝統的建造物群保存地区保存対策に対する助成に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(平成31年度決算)

事業名	94755 伝統的建造物群保存地区防災対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用			
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画			
			目	7	文化財費							
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2355									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・伝建地区を災害に強い町並とするために、伝建地区の土蔵の修理や防災設備の整備を継続して実施し、防火能力の向上を図る。	概要	・伝建地区内の土蔵等修理事業に対する補助、防災設備の整備等
----	--	----	-------------------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	78.3%	75.7%	↗
重要伝統的建造物群保存地区内の修理・修景の実施済割合	68.3%	68.7%	90%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30		H31				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	38,560	30,626	40,220	40,653	40,600	9,974	
特定財源							
国費 (伝統的建造物群保存地区保存事業費1/2)	19,000	15,289	20,000	20,027	20,027	4,738	
県費 ()							
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	1,000	1,000					
一般財源	18,560	14,337	20,220	20,626	20,573	5,236	
個票枝番	主な事業内容						
	伝統的建造物群保存地区防災対策事業(土蔵修理)に対する助成	29,500	22,334	39,900	40,055	40,055	17,721
	観光拠点形成重点支援事業	8,600	8,159				△ 8,159
	高山市政記念館耐震補強工事設計						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		40,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
40,205	40,200	40,200	△ 20	
19,998	19,900	19,900	△ 100	
20,207	20,300	20,300	80	
査定額	説明			
35,400	伝統的建造物群保存地区保存条例に基づく補助			
4,500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・土蔵等修理事業への補助 4件 ・吉島家住宅土蔵修理 1件
評価等	・保存計画や防災計画、様々な伝建地区の調査報告などを基に保存修理を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定 ・保存計画、防災計画に基づき、今後も継続して実施する。 ・伝統構法木造建築物耐震化マニュアルの普及・啓発を進める。

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・土蔵等修理事業への補助 6件
評価等	・保存計画や防災計画、様々な伝建地区の調査報告などを基に保存修理を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定 ・保存計画、防災計画に基づき、今後も継続して実施する。 ・伝統構法木造建築物耐震化マニュアルの普及・啓発を進める。

担当課 予算要求 ポイント	・歴史的町並保存の推進に必要な経費を計上 ・伝統的建造物群保存地区保存対策に対する助成に必要な経費を計上 ・高山市政記念館耐震補強工事の設計監理業務委託に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(平成31年度決算)

事業名	94760 歴史遺産等保存活用事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	7	文化財費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 歴史文化遺産の活用や歴史街道の整備等により、郷土の歴史や文化を次代に伝える。 文化財指定されていない文化遺産や郷土の歴史文化などの保存、継承を支援するための制度を創設する。 記念物を良好な状態で保存管理するための環境を整備する。 美しいふるさと認証制度による郷土愛の醸成や保護活動を促進する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 歴史街道の調査・整備を行う。 伝統的建造物及びその周辺環境や無形文化遺産の調査、記録を行う。 ふるさと伝承記録として、伝承芸能等の映像記録を制作する。 文化財標柱・説明看板等を整備する。 美しいふるさと認証団体を募集し認証する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	78.3%	75.7%	↗
美しいふるさとの認証団体数(累計)	127団体	131団体	160団体
国・県指定・登録文化財の件数	176件	176件	190件

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30		H31				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	18,312	14,663	11,700	11,700	8,916	△ 5,747	
特定財源							
国費 (歴史的建造物調査事業費1/2)		3,998	1,050	1,050	825	△ 3,173	
県費 (祭屋台及び伝統文化保存・復刻調査事業費1/2、地域プライド創出事業費1/2)		1,600			1,050	△ 550	
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、景観まちづくり刷新事業雑入)	6,300	1,702	1,900	1,900	1,510	△ 192	
一般財源	12,012	7,363	8,750	8,750	5,531	△ 1,832	
個票枝番	主な事業内容						
	ふるさと伝承記録制作	1,000	167	1,000	1,000	256	89
	歴史街道調査・整備	1,000	441	1,000	1,000	941	500
◎ 1	日本遺産の活用	11,800	10,601	4,000	4,000	2,720	△ 7,881
	高山祭屋台等の復刻・保存に向けた調査	2,000	1,404	2,000	2,000	1,859	455
	歴史講座の開講			350	350	123	123
◎ 2	市指定文化財の国指定に向けた調査			2,100	2,100	1,650	1,650
	歴史遺産、伝統文化保存活用事業	2,380	2,050	1,250	1,250	1,367	△ 683

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
6,247	6,230	6,230	△ 5,470
275	270	270	△ 780
	2,800	2,800	900
5,972	3,160	3,160	△ 5,590
査定額	説明		
1,000			
500			
2,700			
300			
550			
1,180			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 美しいふるさと認証 8団体 天然記念物保護管理(臥龍のサクラ、小鳥峠ミズバショウを含む湿原植物群) 文化財説明看板等製作 3箇所 ふるさと伝承記録制作 1件(朝日青屋獅子、西洞獅子)(歴史的風致維持向上委員会にて実施) 無形文化遺産、日本遺産の活用(AR看板の整備 7箇所) 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の貴重な歴史遺産の保護・保存が図られ、郷土学習への活用や伝統文化の継承、保護意識の高まりがみられた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 多言語化表記の普及も踏まえつつ、計画的な説明看板等の設置を全市的に行っていく。 引き続きふるさと伝承記録として、地域の貴重な無形民俗文化財等の伝承記録を制作する。 引き続き美しいふるさと認証団体の募集と認証を行う。 歴史街道整備については、今後も計画的に実施する。 日本遺産の活用を推進する。 	

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 美しいふるさと認証 4団体 天然記念物保護管理(臥龍のサクラ、小鳥峠ミズバショウを含む湿原植物群) 文化財説明看板等製作 4箇所 市指定文化財の国指定に向けた調査 ふるさと伝承記録制作 1件(飛騨東照宮おかめ舞獅子舞)(歴史的風致維持向上委員会にて実施) 無形文化遺産、日本遺産の活用(屋台蔵前看板の更新25箇所、日本遺産講演会「飛騨匠フォーラム」開催) 歴史街道位山道の整備 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の貴重な歴史遺産の保護・保存が図られ、郷土学習への活用や伝統文化の継承、保護意識の高まりがみられた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 多言語化表記の普及も踏まえつつ、計画的な説明看板等の設置を全市的に行っていく。 引き続きふるさと伝承記録として、地域の貴重な無形民俗文化財等の伝承記録を制作する。 引き続き美しいふるさと認証団体の募集と認証を行う。 歴史街道整備については、今後も計画的に実施する。 日本遺産の活用を推進する。 市指定文化財の国指定に向けた調査の成果をまとめる。 	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 伝統文化や文化財等の調査・記録による保存・継承と活用の取組に必要な経費を計上 高山城VR展示作成に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容の精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおり

主要事業個票(平成31年度決算)

事業名	94760 歴史遺産等保存活用事業費	区分	<input type="checkbox"/> H30新規	<input type="checkbox"/> H31新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 文化財課	
枝番・内容	1 日本遺産の活用		<input checked="" type="checkbox"/> H30拡充	<input checked="" type="checkbox"/> H31拡充		款	9	教育費			
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		4	社会教育費	内線			2354
		<input type="checkbox"/>		目		7	文化財費	作成年月			R2.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・日本遺産「飛騨匠の技・こころー木とともに、今に引き継ぐ1300年ー」の構成文化財の活用	概要	・日本遺産を中核とした地域の活性化に対する支援 ・文化財のPRのための看板設置 ・日本遺産講演会の開催
----	--	----	---

【参考】H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	11,800
	繰越	0
	補正等	0
	最終	11,800
決算額		10,601
対前年度増減額(決算)		1,702

【参考】H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	4,000
主な経費	・委託料	
対前年度増減額(当初予算)		△ 7,800

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	4,000
	繰越	0
	補正等	0
	最終	4,000
決算額		2,720
対前年度増減額(決算)		△ 7,881

R2当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	2,700
主な経費	・委託料	
対前年度増減額(当初予算)		△ 1,300

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産構成文化財周遊散策コンテンツ等作成 ・日本遺産説明看板製作設置 9箇所 ・日本遺産等地域資源活用調査業務 <p>[評価等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VRなどの最新技術を用いたコンテンツを作成し、文化財の新たな見せ方を提示することができた。 ・多言語化した看板を設置し、増加する外国人観光客の需要に対応することができた。 ・国府地域において大学と連携して事業を行い、地域資源の価値や魅力の見直しにつながった。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産の活用を推進する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明看板の整備(景観まちづくり刷新事業) ・無形文化遺産・日本遺産を構成する高山祭屋台の説明看板の刷新 ・日本遺産を中核とした環境整備・人材育成 ・日本遺産構成文化財を多く有する国府地域において、日本遺産を中核とした地域活性化のための調査(大学連携センターの活用) ・市民のための日本遺産講演会の開催 <p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月 調査研究業務の発注 ・9月 説明看板の刷新 ・講演会の開催 	

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産構成文化財「高山祭屋台」の説明看板(25台)を刷新 ・日本遺産講演会「飛騨匠フォーラム」を12月8日に開催 参加人数 講演会60人 体験200人 ・平成30年度に国府地域で実施した大学連携事業の結果説明会を開催 開催場所 国府公民館 参加人数 30人 <p>[評価等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看板の更新によって読みやすく見やすい看板となった。QRコードを設置することで、詳細な情報や動画に簡単にアクセスできるようになった。 ・専門家の講演により参加者の日本遺産への理解が深まった。 ・説明会の実施により地域住民に調査結果を周知することができた。また、第八次総合計画後期計画へ反映させることができた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産の活用を推進する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高山城VR展示の作成 <p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月 高山城VR展示完成 ・通年 日本遺産の活用を推進 	

主要事業個票(平成31年度決算)

事業名	94760 歴史遺産等保存活用事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H31新規	<input type="checkbox"/> R2新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 文化財課
枝番・内容	2 市指定文化財の国指定に向けた調査		<input type="checkbox"/> H31拡充	<input type="checkbox"/> R2拡充		款	9	教育費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		4	社会教育費	内線		2355
		<input type="checkbox"/> H30新規・拡充		目		7	文化財費	作成年月		R2.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・国の重要文化財(建造物)の指定	概要	・市指定文化財の詳細調査
----	------------------	----	--------------

【参考】H30決算(Do-Check) R1.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H31当初予算(Action) H31.3時点 (千円)

予算額	当初	2,100
主な経費	・委託料	
対前年度増減額(当初予算)		2,100

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	2,100
	繰越	0
	補正等	0
	最終	2,100
決算額		1,650
対前年度増減額(決算)		1,650

R2当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	550
主な経費	・印刷製本費	
対前年度増減額(当初予算)		△ 1,550

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・市指定文化財の国指定に向けた詳細調査等の実施1件	
[スケジュール] ・H31.4 発注 ・R2.3 完了予定	

事業実績、評価等	
[事業実績] ・市指定文化財「洲岬家」の国指定に向けての価値づけを行うため、建物調査や資料調査等の総合的な詳細調査を実施した。 [評価等] ・調査により「洲岬家」の建物の特徴や変遷、歴史的背景など、国指定に向けての価値づけを行うために必要な成果を得ることができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・調査成果を報告書にまとめ、国指定(R3)に向けての手続きを進める。 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input checked="" type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・市指定文化財の国指定に向けた調査報告書の印刷製本1件	
[スケジュール] ・R2.4 発注 ・R2.8 報告書完成	

事業シート(平成31年度決算)

事業名	94770 高山祭屋台保存修理事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	7	文化財費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・江戸時代から続く日本有数の祭の一つとして数えられる高山祭の宝として、後世に残していく。	概要	・高山祭屋台及び屋台蔵について、緊急に修理が必要なものから順次修理を行う。
----	--	----	---------------------------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	78.3%	75.7%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		H30		H31		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	増減(b)-(a)
		40,000	38,918	40,000	39,722	△ 3,068
特定財源	国費 (高山祭屋台等保存修理事業費1/2)	20,000	19,458	20,000	17,929	△ 1,534
	県費 (無形文化遺産保存修理事業補助金)	5,000	5,000	5,000	5,000	0
	その他(高山祭屋台等保存修理事業費寄附金、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	8,000	5,891	4,600	4,600	△ 1,807
一般財源		7,000	8,569	10,400	12,193	273
個票枝番	主な事業内容					
	高山祭屋台・屋台蔵の修理	40,000	38,918	40,000	40,000	△ 3,068

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		40,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
39,536	40,000	40,000	0	
19,768	20,000	20,000	0	
5,000	5,000	5,000	0	
3,953	4,100	4,100	△ 500	
10,815	10,900	10,900	500	
査定額	説明			
40,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・大国台、宝珠台、八幡鳳凰台、龍神台、麒麟台、布袋台 修理 ・五台山屋台蔵 修理
評価等	・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・大国台、宝珠台、神馬台、布袋台、鳩峯車 修理 ・三番受屋台蔵 修理
評価等	・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・国指定重要有形民俗文化財高山祭屋台及び屋台蔵の計画的な保存修理の実施に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度決算)

事業名	94780 市史編纂事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画	
			目	7	文化財費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2977							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・郷土の歴史を次代に伝える。	概要	・高山市史の編纂、刊行 ・編纂調査成果の公開、活用
----	----------------	----	------------------------------

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	78.3%	75.7%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		H30		H31		増減 (b)-(a)	
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	
		10,434	9,807	10,434	10,418	△ 88	
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(市史編纂事業雑入)	500	492	500	500	437	△ 55
一般財源		9,934	9,315	9,934	9,918	9,282	△ 33
個票枝番	主な事業内容						
	新高山市史の編纂、発行	10,034	9,791	10,034	10,018	9,703	△ 88
	古文書解説等指導	400	16	400	400	16	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		5,624
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)	
5,222	5,624	5,624	△ 4,810	
500	500	500	0	
4,722	5,124	5,124	△ 4,810	
査定額	説明			
5,504				
120				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・市史本編として「近・現代編」1巻300冊を発刊した。
評価等	・市史編纂の調査成果を活用した講座等の開催により、市民の郷土の歴史文化に対する関心を高めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・市史本編として「高山祭・民俗文化編」1巻300冊を発刊した。
評価等	・市史編纂の調査成果を活用した講座等の開催により、市民の郷土の歴史文化に対する関心を高めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・市史に関する講演会や講座の開催に必要な経費を計上
---------------------	---------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度決算)

事業名	94800 飛騨高山まちの博物館管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	8	文化財施設費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2977								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民や観光客が気軽に集い憩う中で、城下町高山の歴史や文化に触れることにより、郷土愛の醸成を図る。 観光客に高山の歴史を感じてもらうことで高山の魅力を知ってもらい、リピーターを増やす。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 城下町高山を中心とした歴史文化について、資料収集や調査研究、展示、教育普及などの活動を行う。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	78.3%	75.7%	↗
飛騨高山まちの博物館の来館者数(年間)	179,806人	195,859人	232,000人
飛騨高山まちの博物館の公開可能な歴史資料の件数	22,865件	22,865件	27,532件

2.事業の実施結果等(Do)

		H30		H31			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		27,244	22,430	30,193	30,193	26,655	4,225
特定財源	国費()						
	県費(岐阜県清流の国ぎふ推進補助金1/2)		126			16	△ 110
	その他(文化財施設使用料)	45	7	45	45	24	17
一般財源		27,199	22,297	30,148	30,148	26,615	4,318
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山まちの博物館の管理運営・特別展の開催	26,963	22,149	26,193	26,193	22,715	566
	施設整備	281	281	4,000	4,000	3,940	3,659

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		19,590
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
19,856	19,590	19,590	△ 10,603	
43	45	45	0	
19,813	19,545	19,545	△ 10,603	
査定額	説明			
19,590				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 特別展、企画展を開催 5回 歴史講座、体験教室等を開催 15回 施設利用者数 来館者数 179,806人 研修室利用者数 3,823人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 郷土教育を推進する教育施設として、また伝統的建造物群や城下町景観重点地域などの歴史的風致の維持向上の拠点施設としての運営を行った。 県博物館の移動展の実施
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 博物館の資料収集・調査研究の成果を、展示・講演会などで市民・来館者へ還元する。 館内の案内表示を増やし、計画的に常設展示のリニューアルを行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 特別展、企画展を開催 5回 歴史講座、体験教室等を開催 17回 施設利用者数 来館者数 195,859人 研修室利用者数 4,540人 永田門及び土壩屋根瓦の葺き替え修繕の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 郷土教育を推進する教育施設として、また伝統的建造物群や城下町景観重点地域などの歴史的風致の維持向上の拠点施設としての運営を行った。 県博物館の移動展の実施 来館者数は、開館以来最多の人数となった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の歴史資料の適正な保存と公開等による活用を図る。 計画的に常設展示のリニューアルを行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営や展示に必要な経費を計上 館内の案内表示の増設など、計画的な常設展示の実施に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(平成31年度決算)

事業名	94810 文化財施設管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画	
			目	8	文化財施設費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2356							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の歴史に対して、興味、関心を深め、文化財愛護意識を高めるとともに、郷土の歴史を次代に伝える。 収蔵施設での文化財や歴史資料等の適正な保存・管理 発掘調査等出土品の整理・調査研究や考古学関係の講座・学習会等の開催により、郷土の歴史に対する理解を深める。 市有文化財施設等の安全・安心な利用を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理による文化財施設の運営 文化財収蔵施設等の維持管理 風土記の丘学習センター等の管理運営
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	78.3%	75.7%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H30			H31			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	51,939	48,912	55,106	56,106	54,356	5,444	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他(敷地占用料、文化財等公有振興基金繰入金、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	194	190	3,694	3,694	3,429	3,239	
一般財源	51,745	48,722	51,412	52,412	50,927	2,205	
個票枝番	主な事業内容						
	文化財施設の管理	49,339	47,266	51,606	52,606	51,100	3,834
	施設整備	2,600	1,646	3,500	3,500	3,256	1,610

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

(千円)

R2予算		実施計画額		54,601
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
54,501	54,601	54,601	△ 505	
194	2,494	2,494	△ 1,200	
54,307	52,107	52,107	695	
査定額	説明			
52,601				
2,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理7施設入館者数 213,638人 風土記の丘学習センター夏休み縄文体験講座の開催 参加者 土器づくり講座 82人 勾玉づくり講座 156人
評価等	資料の収集、展示等を通して、郷土の歴史に触れる場の提供ができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の機能強化や展示等の充実を図り、郷土の歴史に親しめる環境づくりを行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理7施設入館者数 214,072人 風土記の丘学習センター夏休み縄文体験講座の開催 参加者 土器づくり講座 47人 勾玉づくり講座 107人
評価等	資料の収集、展示等を通して、郷土の歴史に触れる場の提供ができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の機能強化や展示等の充実を図り、郷土の歴史に親しめる環境づくりを行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理施設をはじめ、文化財施設の管理運営に必要な経費を計上 風土記の丘学習センターの管理運営に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	積算内容の精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

事業シート(平成31年度決算)

事業名	94830 飛騨高山まちの体験交流館管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・市内観光及び広域観光の交通発着点であり、地産地消や高山の文化なども体験できる拠点空間(観光ハブ拠点)の形成に努めます。 ・地産地消が体験できる拠点空間(施設)の整備に努めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	8	文化財施設費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2977								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・体験型の施設として運営することにより、「学び」を主体とする飛騨高山まちの博物館と一体的な機能を発揮し、伝統文化伝承の拠点として歴史的風致の維持及び向上を目指す。	概要	・伝統的工芸品などの実演、体験、展示並びに文化体験等の実施 ・交流広場の提供による特産品PRイベントやまちなか活性化イベント等の実施
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H30実績	H31実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	78.3%	75.7%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		H30			H31		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		20,922	17,503	23,623	23,623	22,270	4,767
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(文化財施設使用料)	370	320	435	435	441	121
一般財源		20,552	17,183	23,188	23,188	21,829	4,646
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山まちの体験交流館の管理運営	20,922	17,503	23,623	23,623	22,270	4,767

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和2年度予算編成(Action)

R2予算		実施計画額		20,310
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
20,932	20,310	20,310	△ 3,313	
435	435	435	0	
20,497	19,875	19,875	△ 3,313	
査定額	説明			
20,310				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成30年度事業実績、評価等(Check) R1.8実施

事業実績	・施設利用者数 来館者数 115,602人 研修室利用者数 358人 交流広場利用者数 16,628人 ・実演、体験実績 2,643人 ・交流広場イベント 延べ14日
評価等	・伝統産業や伝承芸能などの振興、市民・観光客の交流と回遊性の向上を図る施設として、実演、体験の運営や交流広場を利用したイベントが実施され、利用促進に努めた。
次年度以降の考え方(担当課)	・飛騨高山まちの体験交流館施設の運営にかかる経費を計上 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

5.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・施設利用者数 来館者数 168,238人 研修室利用者数 724人 交流広場利用者数 15,054人 ・実演、体験実績 6,771人 ・交流広場イベント 延べ13日
評価等	・市民・観光客の交流と回遊性の向上を図る施設として利用促進に努め、実演、体験の運営や交流広場を利用したイベントが実施された。 ・伝統産業や市指定無形文化財の有道しやくし、宮笠などの伝統文化の実演・体験を実施し、伝統文化の振興が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	・伝統産業や伝承芸能などの振興、市民・観光客の交流と回遊性の向上を図る施設として、実演、体験の実施や交流広場のイベント利用の促進に努める。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨高山まちの体験交流館の施設運営に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容の精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------